

平成23年度

第5回 作手地域審議会

平成23年7月22日

新城市作手総合支所 第二会議室

19:00開会

・会長あいさつ

会長

・議事録署名委員指名

清水委員

村田委員

議題 (1) 地域自治区制度の答申(案)について

会長 それでは議題の地域自治区制度の答申案につきまして、過去4回にわたり審議をしてきました最終案をまとめて参りたいと思います。よろしくお願ひします。

会長 まず初めに、〇〇委員から出された2点を先行して議論をしていただきたいと思います。どなたからでも結構でございます。ご意見のある方からお願ひをいたします。

委員 私が提出したのは、現在の支所がどのように変わるか説明会の時も具体的に分からなかったし、質問される方もなかったので、企画課としてそういうことを打ち出している以上は、みんなが知らないままではいけないと思いました。総合支所がどう変わるかを明確にしていた方がよいのではないかと思います。それから、ワンストップサービスの話は前の会議でも質問させていただいて、〇〇委員からもワンストップサービスは行政用語で、一般の人には分からないのではないかという意見がありました。強いてワンストップサービスと言っているのでどういうことかなど。地域審議会委員の皆さんが良ければそれでいいと思います。そもそもワンストップサービスというものはどういうものなのか。

事務局 ワンストップサービスというのは、必要とする用件が一つの窓口で済ますことができるということです。その用件はここではなく向こうへ行ってください、ということでは一カ所で済ますことができません。自治振興事務所の窓口で用件が全て完結できるということになります。

委員 これは英語でワンとストップだから言葉的には分かりやすいけれど、考え方によっては分からない。

会長 この文案は、「ワンストップサービス化が示されている」の次から書いてあることがその説明ということです。

委員 本当はもっと広いところが使う言葉ではありませんか。

会長 例えば、用件を済まそうと思って自治振興事務所に来たのに、「本庁へ行ってください。」ということは避けてくださいということです。

委員 支所と本庁が離れているという不安感があるので、不安感を拭い去るためにも、ここへ来ると何でもやってくれるということを住民の人が分かれば安心して暮らせると思います。そういうことを書くといい。

委員 具体的にどう書けば良いのか分かりませんが。

委員 皆さんの今までの意見を集約し、総合支所の職員がもっと減らされるのではということで、職員を確保してもらうためにはどうしたら良いか、説明会で配布された資料にワンストップサービスと書いてあるのに、職員が少なければできないのでは。権限を持った人と、人員確保をしてくださいということだと思います。ワンストップサービスには職員の確保が必要です。それを表現するためにワンストップサービスという言葉が先に使ったため分かりにくかったといえれば分かりにくかったと思います。ワンストップサービスが住民には大切。能力のある人が一人いてどの様な用件にも待たせることなく答えてくれることができれば良いけれど、やはりそれは無理だと思う。他に良い理由付けができればこの言葉に限ったことではないのでは。住民サービスが低下しないことと、職員確保というところを謳うことができれば、この段の意思は果たせると思います。

委員 ワンストップサービス化は具体的にどんなケースがありますか。

事務局 具体的なケースは思い浮かびませんが、本庁方式では集約して本庁が権限を持っています。支所の窓口でも本庁と同じ情報を常に持っていて、皆さんが必要とすること全てを支所の窓口で処理する権限があり、また、その采配ができる。現在の総合支所でもワンフロアにそれぞれの窓口がありますが、同じように一つの窓口に行けば用件を済ますことができるということです。

委員 具体的なケースが思い浮かばないです。

委員 例えば昨日の大雨災害で、中河内地内の国道301号で路肩が崩れたところがありましたが、そこへ地域整備課の方々が来て立ち会ってくださっていた。この地域の困った事にすぐに足を運んでくださったという点がとても安心をして、上手く対応をしていただいていると思いました。地域整備課が無くなってしまうのではという心配がありますので、今のような迅速な対応ができるかどうかというと、少し不安な点があります。

事務局 今回の災害は、作手地区の雨量が多かった。新城地区と鳳来地区に何もなかったわけではありませんが、作手高里の雨量が500ミリを越え、災害も作手地区が多かった。避難所に本庁から交代要員も含め派遣いただきました。現地で活動していたのは作手総合支所地域整備課の職

員だけではありません。本庁から派遣していただいた職員にも災害調査などの対応をしていただきました。消防団にも活動していただいています。とても現在の総合支所職員数で今回の大雨災害を賄えたわけではありません。今回は、新城・鳳来地区よりも作手地区の災害が多かったこと、避難所開設が4か所と少なかったことから、本庁からの職員派遣で対応できましたが、これが全市的に大きな災害になってしまった場合には、行政だけでは対応できません。現在は総合支所地域整備課に職員がいるため初動が早いということはありますが、大規模災害時には自主防災会に活動いただく事が重要になってくると思いました。

委員 それは、今後に活かそうなので、その辺の擦り合わせを上手くやっていけるといい。

委員 一番言いたいのは、職員を配置して欲しいと言う事です。ワンストップサービスをやるのであれば、余計、幅広く何でもすぐに対応できる優秀な職員を配置してくださいという意見が主だと思います。

委員 いろいろな部分に精通した職員を配置してくださいとか、そういうニュアンスですよ。

委員 今の書き方では、間に合うか間に合わないかは別にして、職員を沢山くださいということになります。

委員 やはり、優秀な職員と書くべきだと思います。

委員 相応の職員の配置ということですか。

委員 きちっと書かなくてはいけないと思います。

委員 考え方によっては上手く書いてあるというように思いますが。

委員 ワンストップ化を実現するために職員の配置をしっかりと欲しいと言えば、答申する時に市長が見て、人が欲しいのかなと分かってくれば良いと思います。

会長 もう少し具体的に書いてはどうですか。

委員 今回の大雨災害のことを考えても、遊軍的職員がいても良いのではないか。

支所長 防災につきましては、現在、防災対策課でシステムを検討しています。防災につきましては、現在の職員配置でも決して十分ではない。昨日の大雨の場合でも職員が不足したため応援態勢で作手地区に職員派遣いただいで対応できたということですから、こういう状況についても対策本部会議で報告しています。緊急に動けるか動けないかは、現地に行くまでの道路等、色々な状況がありますので、そういうことを頭に入れた中でシステムを作っています。それがダメなら地元出身の職員も現地へは行けないわけですから、作手総合支所で行なうことという部分で、

現在検討中ということになります。防災については防災対策課の方でシステムを考えています。それも、今のレベルを下げないということを前提に考えていただけたらと思いますので、基本的には通常業務の中での地域自治区の部分はどうするかというところで議論いただければと思います。

委員 文言をどうしましょうか。

委員 それでは、権限をもった職員の配置と、相応の職員及び職員数を確保して欲しいということにしましょうか。

会長 よろしいでしょうか。

委員 賛同

会長 それでは次に〇〇委員の修正案につきまして、委員から御説明いただきます。よろしくお願いいたします。

委員 私が提出した文書は、案の言い回しを変えたということで、①②③と書いてあるのは強調してはどうかというところを書いてあります。①のところは、少し順番を変えてはどうかと思って書きました。②のところは、答申があったことに対して自治区制度は丁度いいタイミングなのではないかという答申をしたということに繋がるかなと思って考えました。③のところは、若干の補充と追加をさせていただいています。地域自治区制度に対する共通の認識と理念を、市は当然のことながら、議会も住民も持って進めれば上手く行くのではないかということで、その説明が必要だと思いこういう文言を入れました。特に、議会は良いか悪いか、積極的かどうかは分かりませんが、そこも含めて一生懸命説明をして理解したうえで発足出来るように真剣に進めて欲しいと思い書きました。※印の方では、一括交付金にはあまり触れなくてもいいかと思いましたが、この審議会でも話にでていたので、様々な要因を考慮し、適正公平に交付されたいということで入れました。単なる人数割にならないように、実際の活動によってとか、広い面積を有することを含めて、様々な要因を考慮して交付していただきたいという思いを書きました。一括交付金の中身についても、当初の説明では区長の報酬やその他いろいろなものがあると言いましたが、具体的に何か分かりません。区長制度が残るというのに、区長の報酬まで切っていいのか。行政区補助金も一括交付金に入るのかどうか。行政区補助金が一括交付金に入るとなると、頭割りで各区に交付されているものや、個別に交付されている補助金も含め、積算方法も検討して欲しいという意味で書かせてもらいました。最後の※印は、総合支所の機能を自治区になっても機能させて欲しいという思いで書かせていただきました。

会長 ありがとうございます。それではご意見をいただきたいと思  
います。

委員 具体的で分かりやすいと思います。

委員 とても分かりやすいです。

委員 前置きの時に入れていいのか分かりませんが、更に具体的に表すと  
したら、「災害時の対応を十分に出来ない恐れがあります。(例、平成2  
3年7月台風6号)」ということを少し入れておくといいのではないで  
しょうか。

委員 今回の台風は割と対応が良かった方ではありませんか。逆に、この  
ままでやれるという意味に取られてしまいませんか。早くから災害対策  
本部を立ち上げてやっていたようですし、今回は大きな被害が出な  
かったからかも知れませんが。

委員 それなら良いです。

委員 言い回しを変えてもらって考えてもらえればと思います。

委員 ○○委員の言葉は非常に分かりやすいと思います。

会長 ○○委員の案に変えるということによろしいですか。

委員 賛同

事務局 確認をさせていただきますが、カッコ書きが3つあります。この取  
り扱いはどうしますか。

委員 どちらの言葉が良いか決め兼ねたので、カッコ書きにしてあります。

委員 ○○委員が好きな方でいいのではありませんか。

委員 では「引き起こす」でお願いします。

委員 「希薄」と「醸成されていない」では、醸成されていないでは動き  
があるがまだそこまで到達していないというニュアンスですが、希薄だ  
と無関心という感じがします。

委員 希薄だとちょっと強くなる感じがあります。

委員 それでは一応市も努力はされているので、醸成されていないとい  
う方がいいかも知れませんね。

委員 今回の災害の対応にしても評価するところは評価しないといけない。  
そういう言葉もあると思う。強く言って良い場合と、一歩引く場合とが  
あると思う。

委員 これ程皆で考えているけれど、読む方は感じ取ってくれるでしょ  
うか。

委員 言葉で言うには少々強い事を言っても良いけれど、文章に残る物は  
それほどキツクなくても良いと思います。

委員 本当は地域自治とかも、もっと分かりやすい言葉に変えていかない

といけない。隠語みたいなどっちにも取れるような言葉はやめた方が良い。

会 長 それでは「醸成されていない」という言葉を活かすということでもよろしいですか。

委 員 賛同

委 員 「地域の歴史や文化、産業は大切」は「大切」の言葉の方がはっきりしていて良いと思います。

事務局 ありがとうございます。

委 員 尊重の下の部分にある「時機」ですが、これはどうでしょうか。時宜か何か。こういう場合は時宜というのではないか。

委 員 そのつもりのイメージでこの字を選びました。そういうタイプの字でお願いします。

会 長 元の原案ですとこの分が続くところで「区割りについては」というところはよろしいでしょうか。「9地区が良いと考えます」ということでいいですか。

委 員 9地区で良いということなのか、作手地区は1つでいいという意味で、他の所は作手から特にどのと言う話ではなかったかと思います。

委 員 これは市全体のことを諮問されているのではないのですか。全体としてはどうだということを入れれば良いのではないのでしょうか。

委 員 それは議論をしなければいけない。新城は5つ、鳳来は3つで作手が1つ。

会 長 9地区ときちんと入れるか、原案のとおりで結構ですと入れるような言い方をするかどちらかで良いと思います。

委 員 ここについては、作手地区だけではないだろうという気がします。

事務局 当初案としては、基本的に中学校区ですが、鳳来については区域が広いため3つに分けるということになったようです。

会 長 それでは、9地区という具体的な数字は抜いていきたいと思います。〇〇委員が書いてくれた③について。

委 員 「その他」のところの「今後、この制度を」というところで、こういう意味も含んでいるかなということを書かせてもらいました。

委 員 今回は市議会の一部の議員さんで地域自治区の研究、勉強をされているようですが、議会全体がどういう風に研究しているのか知りません。飯田市では自治基本条例を議会主導で作られたそうですし、それを思うと、もう少し新城も議員さんを入れて研究をしていった方が良いと思います。

委 員 賛成です。議会が初めてですか。今まで例がなかったものですから。

どのように考えていけば良いかよく分からなかったのですが、このようにさらっと書くのがいいのかなと思います。議会側がどのように考えておられるか分かりませんが、市民委員会としてはこういう考えですと、全てを頼んだという意思表示でもあるからこれは良いと思います。

会 長 要は「たてまえばかり説明してないで」ということが言いたいわけですよね。

委 員 そうですね。

会 長 それではこれも載せるということでよろしいでしょうか。

委 員 賛同

会 長 ※印で書いてもらったところですが、※印の上の一括交付金についてというところで、説明の中に区長さんの報酬がどのという説明があったと思いますが、これは原案に戻ったということでしょうか。

事務局 当初案は「区長報酬と地区への各種交付金を全て集め、まちづくり住民会議への委託契約金とまちづくり交付金にします。」と言っていました。それはご破算になり、今までどおり区長報酬は区長報酬で出します。

会 長 市の非常勤職員として区長の皆さんに支払うということですよ。

事務局 そうです。財源としてはみんなのまちづくり基金を2000万ずつ取り崩していきますという説明がありましたので、その解釈がまた違ってくると思います。当初案では財源を確保するため、各行政区にそれぞれ交付していた補助金を集約して交付金に当てますという説明でした。

委 員 この部分は心配しなくても良いのか。

委 員 作手として意見を書くのは無駄ではないと思いますが、あまり具体的に書くのはどうかと思います。

委 員 前に言ったように、交付金の期待はするわけですが、それよりも、地域協議会と市の間で予算と権限を与えますというところを上手く利用することを考えた方が良いのではと思います。そのところをよく説明をしてくれないので、良く分からない。

委 員 交付金の分け方や交付の仕方もあるので、人数だとかそれだけではない、いろいろな要素を取り入れてやって欲しいと思います。人口が中心にはなるとは思います。

委 員 若者が沢山いるところと、年寄りが沢山いる所で人数割、頭割りというのもどうかと思います。

事務局 先程、〇〇委員が言われたように、活動や面積というお話をいただきましたので、簡単に「各自治区の活動や面積など様々な要因を」という



のを入れる感じでよろしいでしょうか。一括交付金についてはどこに入れますか。項目を設けますか。

委員 項目を持ってきた方が分かりやすいと思います。

会長 それでは、よろしいですか。

事務局 5番目に一括交付金について、その他を6番にするということでしょうか。

委員 強調し過ぎてもいけないと思いますので、その他の中に入れてもらえればいいと思います。

事務局 それでは5番のその他に一括交付金は各自治区の活動、面積など様々な要因を考慮し、適正公平に交付されたいということで追加させていただいてよろしいでしょうか。

会長 それで良いと思います。2番のまちづくり住民会議をこのような形で書かせていただきましたが、意思は通じますでしょうか。

委員 良いと思います。一つ確認させて頂きたい所があります。前段の部分の、〇〇委員の案になったところで地域自治区制度は住民の意思とか意見を行政に反映させることができる組織としては良い組織だということで、地域審議会から上げて行く意味でこの文書にするのか、それとも、地域自治区制度がとても良い制度なので、地域審議会として断然良い時期に作っていただきましたという風にしていくのか。今の文章では両方に取れそうなので、その辺はどうかと思います。個人的な意見としては、仕方なく行政や何かのシステムが上手くいってなくて地域の声が入らなから、地域自治区の制度を上手く利用して、声が行政に届く様にしたいのでは。はっきりとした書きの方が、良いのではないかと思います。審議会としてどう考えるかを考えたいと思います。他は素晴らしく上手に書いてあると思います。

委員 〇〇委員のおっしゃる事を文章でいうとどうなりますか。

委員 例えば、反映することができる地域自治区制度としてはその必要性を感じておりますけれどもという感じでしょうか。この地域自治区制度を作ることによって地域の声が入るようになる制度の必要性を感じているという方が私は良いと思います。この文章からいくと、地域自治区制度をものすごく推薦して、今の時期には最適ですというように受取れてしまうので、その辺をどちらにするかということですが。

委員 私の考えではこの自治区制度に期待をします。そういう意味では頼りという感じがします。

委員 〇〇委員が言われるのは、原案どおり地域住民の意向が反映される制度としてその必要性を感じています。という方が良いということでは

ようか。

委員 文章にするのは難しいですが。

委員 そもそも平成の大合併がなければ、この自治区制度もなかったはずの話なので、国が合併を推進しておいて、法律を変えて自治区制度を推進しているというのは、考えようによってはすごく矛盾した話だと思う。

委員 私は、合併にもタイミングがあり、今は地方分権を推進していることから、新しい時代になり行政は情報を公開して市民主体や、市民の参画を得ながら運営していかなければ、良いまちにはならないという事だと思います。

委員 現実的な判断だと思います。この地域自治区制度をチャンスとしてとらえていくのが住民としてのパワーだと思いますし、そういう捉え方をした方が良いと思います。

委員 簡単に言うと〇〇委員は、自治区自体がタイムリーだと言いましたが、私はそう思わず個人的には全然タイムリーではないと思ったので、その辺を強調した方が良いのではないかと考えました。

委員 タイムリーではないというのはどういうことですか。

委員 今の時点で私達も自治区制度の事が良く分からないのに、素晴らしくタイムリーな組織だよと推薦するような感じを出してしまっているのかどうかと思いました。制度としては、上手く使って地域の問題等を地域の人々が解決したり行政に上手く情報を上げていったり情報を取るという意味での地域自治区制度は良いと思いますが、それをタイムリーとして捉えるか、それとも上手く使える組織ならば良いですよという風に言ってしまうかという事です。

会長 〇〇委員の意向で言うと、〇〇委員の締め部分を前の案の言葉に直した方が良いということになるかと思います。

委員 「地域自治区制度」から後を、「必要性を感じています」という風にしてはどうでしょうか。

委員 文章にすると180度変わってくると思います。行政サービスの低下を心配する声が出ています。この状況の中で、地域自治区の導入が決まりましたが、これは慎重の上にも慎重を要しますという意味ですか。

委員 そうではなく、この制度が必要だとは思いますが、ただ、まだまだ説明が十分ではないので心配な部分があるということもあります。

委員 どういう風に書くのが一番良いのか。

会長 要は、住民に情報が伝わらないという心配がかなりありますので、それを解消するためには賛成するしかないということですが。

委員 〇〇委員の②の文章で、最後の締めを「その必要性を感じています。」

ということではダメですか。

委員 時宜だと〇〇委員は言っておられるので。

委員 折角決まった制度なのでチャンスとして捉えようと思っただけで、時宜にこだわっているわけではありません。

委員 制度として上手く活用できて、もしダメだった時には修正できるような制度でないといけないと思うので、今の制度を率先して推薦したように取られると困ると思っただけです。

委員 もし言うなら、「地域住民の意思を反映できる地域自治区制度を完成させなければいけません」みたいなニュアンスはどうでしょうか。

委員 「完成」は重いと思います。

委員 「不安は抱えておりますが」というのはどうでしょう。

委員 当初の素案では、委員皆さんの意見から、必要性は分かるのでこのように配慮してくれないと必要ではありませんというニュアンスでした。これをなにがなんでも進めましょうという意思は一切なく、住民にとって良い制度にしてくれるのであれば良いけれど、そうでなければいりませんという気持ちを載せてあります。前段は、住民の声が届くという風になっている。だからそういう制度は欲しいという必要性を感じていますということでの文案となっております。どちらかといえば〇〇委員的なニュアンスです。

委員 消極的賛成ということでしょうか。

委員 折角つくるのであれば積極とか前向きにということではなく、この制度を立ち上げて、そのあとで修正案を出して直していけるようなことが良いのではと思いますが。

委員 初めての制度なので、どこかでねじれてきたり、困ることが出てくると思うので、その都度修正していかないと良いものにはならないと思います。

委員 本当は合併時に作るべきと思います。合併後5年もした後から出来てきた制度なので、その辺も気になって、この時機というところだけが気になりました。それなら、制度としては良くして欲しいという案ならば私は良いかなと思います。

委員 今の意見に賛成です。

事務局 反映することができる地域自治区制度の必要性を感じていますということでもよろしいですか。

委員 反映されないのであれば必要性を感じないのだから、良いのではないですか。後の所は、会長副会長が補足するということで。

委員 もう1回言ってください。

事務局 ○○委員の②の後段ですが、「地域住民の意思を行政に反映することができる地域自治区制度の必要性を感じています」と修正させていただきたいと思います。

会 長 これで一通り済んだということになります。事務局にはこの案を修正して、今月中に委員の皆さんにも送ってください。

事務局 はい。皆さんにお配りして、修正点があればまだ間に合いますので御連絡ください。正式な提出は2日ですが、27日か28日ころには企画課へ提出することになると思います。

会 長 それでは、真剣なご議論をさせていただきまして、ありがとうございます。本日の会議を持ちまして、今後は特別なことがなければお集まりいただくことはありません。ご協力いただきありがとうございます。

20 : 45 閉会